

事業報告書

2020 年度

社会福祉法人 慈協会

特別養護老人ホームサニーヒル
特別養護老人ホームサニーヒル ユニット
デイサービスセンターサニーヒル
ショートステイサービスサニーヒル
サニーヒル居宅介護支援センター
地域包括支援センターブランチサニーヒル

2020年度事業報告

理事長 遠山 洋一

施設長 岡寄 圭次郎

2020(令和 2)年度の各事業部門の稼働状況につきましては、従来型特養は延べ利用人数 18,895 名(前年 18,995 名)で 100 名の減少となりましたが、ショートステイサービスは延べ利用人数 15,024 名(前年 14,923 名)で 101 名増加であり、従来型特養の利用者が入院され空いたベッドを効率よく稼働し、従来型とショートステイで何とかイーブンを保ったと言える状況です。ユニット型特養は利用延べ人数 14,183 名(前年 14,468 名)で 283 名の極端な減少となり、由々しき問題となっております。ユニットのトップは据え置くも、施設長直轄化として、ユニット型特養の稼働率の再健全化を目指し改革しております。デイサービスについては利用延べ人数 2,920 名(前年 2,863 名)で 57 名と、昨年引き続き微増となりましたが、まだまだ赤字部門であり、引き続き利用者の大幅な増員が必要で、地道な各関連施設の営業周りや、様々な地域へのポスティング活動などを通して、次年度中に何とか赤字解消を達成したいと考えております。また、居宅介護支援センターの件数は 1,540 件(前年 1,604 件)で 64 件の減少となり、こちらも余談の許さない状況でした。今年度はやはり何と言っても新型コロナウイルス感染症の影響で、度重なる緊急事態宣言の影響もあり、各種サービス受給を自粛されていた利用者も多く、ここ近年の安定した経営状況とは言い難いものでした。しかし、感染対策を駆使した上で例年通り、月に 1 回開催している運営委員会・経営会議を行い、理事長、施設長、幹部職員を始め、主要職員が定期的に話し合い、コロナ時代に見合った問題点や改善点を抽出し、コロナ禍でも安全で適切なるサービスの向上を目指した結果、稼働率の落ち込みは比較的少なく済み、お陰様で今年度も辛うじて黒字決算となる事ができました。

施設整備面では、新型コロナウイルス感染症の対策として、1) 発熱者チェックのサーマルカメラ 1 台(新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業助成金)を出勤職員入口に設置、2) 飛沫飛散防止の為に必要各部所にパーテーションの設置、3) クラスター防止の観点からの WEB 面会の早期開始、4) 3 密予防の為に、二酸化炭素濃度計の各部所への設置等を行い、また殺コロナとして、集合部所など要所に、5) 亜塩素酸ナトリウム(二酸化塩素)燻蒸器 4 台を配置、6) 抗コロナウイルスシールドの施行、7) 人体に無害で瞬間殺コロナの紫外線照射装置 5 台を設置しました。一方、介護ロボット助成金で、新型ベッド 27 台を導入させて頂きました。

経営課題の一つになっている、慢性的な人員不足の対しては、事務所職員とか異なる部所の人員とかを問わず、人手が足りない所で、実質的な介護業務を応援するなど、職域、配置を超えた、積極的で柔軟なマンパワーの移動で対応しました。2020年度も5~6名の新卒職員の採用を目指しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の為、採用には至らず、大変残念な結果になりました。2021年度は多数の新卒採用を目指し、施設長が先頭となって、関連の高校への定期的な訪問を予定しております。また一方で、特定技能を有する外国人の採用も積極的に行って参ります。

最後に2020年度は、全世界的に流行している新型コロナウイルス感染症による、国家的経済損失のみならず、病院や高齢者福祉施設での集団クラスターが多数発生しましたが、当施設では今の所幸いにクラスターの発生は無く、今年度の事業を滞りなく遂行することができました。これも偏に、理事及び評議員の皆様のご経営に対するご意見やご協力、行政関係各位の方々のご指導、更には地域の皆様のご理解の賜物であり、心より感謝を申し上げ、2020年度の事業報告とさせていただきます。

I. 介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から、在宅・病院・他施設で入所待ちをしている方よりも、当施設のロングショートを利用しながら入所待ちをされている方をロングショートから長期入所への切り替えを積極的に行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度よりも利用人数及び利用日数共に減少となったが入院された方の空きベッドを有効活用し、ショートステイを希望される方への空床利用をスムーズに提供することができた。又、介護認定を受ける高齢者が年々増加傾向にあり、男女合わせて100名程度の入所申し込みがあり、更には重度化してきている傾向にあると思われる。

要介護度別の状況

令和3年3月31日

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	0	4	2	1	7
女（人）	1	0	5	22	17	45
実数（人）	1	0	0	24	18	52
割合（％）	1%	0%	17%	40%	40%	100%

令和元年度及び令和2年利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度（人）	54	52	53	53	52	52	53	53	53	55	52	52	634
令和2年度（人）	52	52	51	52	52	51	52	53	51	52	52	53	623

令和元年度及び令和2年度利用日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度（日）	1,556	1,612	1,554	1,605	1,612	1,560	1,603	1,554	1,611	1,608	1,508	1,612	18,995
令和2年度（日）	1,560	1,612	1,560	1,612	1,612	1,560	1,612	1,560	1,612	1,579	1,456	1,612	18,947

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅠの判断基準は、何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している状態。ランクⅡは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる状態。ランクⅢは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする状態。ランクⅣは日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする状態。ランクⅤは著しい精神症状や問題行動が見られ、専門医療を必要とする状態が判定基準である。提供されるサービスの例としてはランクⅢより短期入所生活介護・通所介護の必要性があり、ランクⅣにおいては、介護保険施設の利用が適当と判断される。なお、ランクⅤの段階では専門医療機関(精神科)の受診が必要となる。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅠに属する利用者は0名で、ランクⅡに属する利用者は、1名、ランクⅢは28名、ランクⅣは23名、ランクⅤに位置する利用者が1名(3月31日現在)となっている。

区分	Ⅰ	Ⅱ a	Ⅱ b	Ⅲ a	Ⅲ b	Ⅳ	Ⅴ	合計
男(人)	0	0	0	5	0	4	0	9
女(人)	0	0	1	18	4	19	1	43
実数(人)	0	0	1	24	4	23	0	52
割合(%)	0%	0%	1%	46%	9%	44%	0%	100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ランクⅥは何らかの身体障害等を有するが、日常生活はほぼ自立し、一人で外出する者が該当。ランクⅦは「準寝たきり」に分類され、「寝たきり予備軍」ともいうべきグループであり、いわゆるhouse-boundに相当する。ランクⅧは「寝たきり」に分類されるグループであり、いわゆるchair-boundに相当する。ランクⅨはランクⅧ同様「寝たきり」に分類されるが、ランクⅧより障害の程度が重い者のグループであり、bed-boundに相当する。

既存特養における利用者の状況は、ランクⅥに属する利用者が0名、Ⅶが5名、Ⅷが9名、ランクⅨが最も多く38名(3月31日現在)となっている。

区分	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	Ⅻ	Ⅼ	合計
男(人)	0	0	0	1	0	3	1	4	9
女(人)	0	0	0	4	1	5	15	18	43
実数(人)	0	0	0	5	1	8	16	22	52
割合(%)	0%	0%	0%	10%	1%	15%	31%	43%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

令和3年3月31日現在

区分	入所者数	入所期間				
		～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0
	女	2	0	1	0	1
	計	2	0	1	0	1
65～ 69歳	男	2	1	1	0	0
	女	0	0	0	0	0
	計	2	1	1	0	0
70～ 79歳	男	2	0	1	1	0
	女	7	1	0	1	3
	計	9	1	1	2	3
80～ 89歳	男	5	0	0	2	2
	女	15	4	0	2	4
	計	20	4	0	4	6
90歳～	男	0	0	0	0	0
	女	19	2	0	3	2
	計	19	2	0	3	2
合計	男	9	1	2	3	2
	女	43	7	1	6	9
	計	52	8	3	9	11
平均年齢 男性78.3歳 女性83.9歳 総数81.1歳						
平均入所期間 男性2年4ヶ月 女性3年7ヶ月 総数3年1ヶ月						

保険者別区分表

保険者	区分	人数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	31
木更津市	介護保険利用者	6
市原市	介護保険利用者	9
君津市	介護保険利用者	3
千葉市	介護保険利用者	1
船橋市	介護保険利用者	1
いすみ市	介護保険利用者	1

I. ユニット型介護老人福祉施設（特別養護老人ホームサニーヒル ユニット）

ユニット特養は平成25年5月にオープンし、2020年度内に入所された方は16名、退所者は16名であり、入所経緯は、介護老人福祉施設が8名、病院が8名であった。

昨年度は介護老人福祉施設から入所されるケースが圧倒的に多かったが、今年度は医療機関からの受け入れが半数とかなり多くなっている。

待機者については、在宅よりもショートステイ利用後の入所や、退院後の受入れ希望が圧倒的に多くなっている。

要介護度別の状況

2020年3月31日現在

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男（人）	0	1	5	4	3	13
女（人）	0	4	10	6	7	27
実数（人）	0	5	15	10	10	40
割合（%）	0.0%	12.5%	37.5%	25.0%	25.0%	100%

2019年度及び2020年度年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019年度	1,182	1,217	1,195	1,229	1,227	1,200	1,228	1,179	1,221	1,228	1,148	1,215	14,469
2020年度	1,161	1,208	1,200	1,205	1,162	1,114	1,217	1,184	1,214	1,240	1,090	1,188	14,183

2019年度及び2020年度月別稼働率比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019年度	98.5%	98.1%	99.6%	99.1%	99.0%	100.0%	99.0%	98.3%	98.5%	99.0%	99.0%	98.0%	98.8%
2020年度	96.8%	97.4%	100.0%	97.2%	93.7%	92.8%	98.1%	98.7%	97.9%	100.0%	97.3%	95.8%	97.1%

認知症高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の認知症高齢者の日常生活自立度状況は、ランクⅠとランクⅡaが0名、ランクⅡbは7名、ランクⅢaが24名、ランクⅢbが0名、ランクⅣが4名、ランクMが5名(2021年3月31日現在)となっている。

前年度と比較するとランクⅡaがⅡbやⅢaなどに移行して認知症の重度の方が多くなっている。

そのため手間や時間がかかるようになるため、見守りや付き添いの必要性が多くなり、異食や突発的な動きなどに十分な注意が必要になっている。

区分	正常	Ⅰ	Ⅱa	Ⅱb	Ⅲa	Ⅲb	Ⅳ	M	合計
男(人)	0	0	0	3	7	0	1	2	13
女(人)	0	0	0	4	17	0	3	3	27
実数(人)	0	0	0	7	24	0	4	5	40
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	17.5%	60.0%	0.0%	10.0%	12.5%	100%

障害高齢者の日常生活自立度状況

ユニット特養における利用者の障害高齢者の日常生活自立度状況は、ランクJに属する利用者は0名、Aが22名、Bが13名、ランクCが5名(2021年3月31日現在)となっている。

特徴としては、ランクAの利用者が55%と多く、「寝たきり」から「準寝たきり」のランクへと移行している。歩行が可能だが、見守りや付き添いが必要な入所者が多くなってきているので、転倒などに十分注意する必要性が高くなってきているため、手間や時間がかかっている。車いすでも徘徊する利用者が増えているので、他利用者とのトラブルなどにも細心の注意が必要となっている。

区分	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	合計
男(人)	0	0	2	4	3	3	1	0	13
女(人)	0	0	2	14	2	5	1	3	27
実数(人)	0	0	4	18	5	8	2	3	40
割合(%)	0.0%	0.0%	10.0%	45.0%	12.5%	20.0%	5.0%	7.5%	100%

年齢、性別および入所期間別区分表

2021年3月31日現在

区 分	入所者数	入 所 期 間				
		～1年未満	1年～ 2年未満	2年～ 3年未満	3年～ 4年未満	4年～
～64歳	男	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
65～ 69歳	男	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0
70～ 79歳	男	1	0	0	1	0
	女	4	1	1	1	0
	計	5	1	1	2	0
80～ 89歳	男	7	2	2	2	0
	女	15	3	4	3	1
	計	22	5	6	5	1
90歳～	男	5	5	0	0	0
	女	8	3	0	1	1
	計	13	8	0	1	1
合 計	男		7	2	3	0
	女		7	5	5	2
	計		14	7	8	2

平均年齢 男性87.17歳 女性86.64歳 総数86.78歳

保険者別区分表

保険者	区 分	人 数
袖ヶ浦市	介護保険利用者	13
木更津市	介護保険利用者	7
市原市	介護保険利用者	8
君津市	介護保険利用者	2
栃木県佐野市	介護保険利用者	1
千葉市緑区	介護保険利用者	1
千葉市中央区	介護保険利用者	1
千葉市花見川区	介護保険利用者	1
北アルプス広域連合	介護保険利用者	1
中央区	介護保険利用者	1

II. 短期入所事業（ショートステイ）

総括

2020年度の稼働率は102.6%（前年比0.7ポイント増）、利用延べ人数で15,024人（前年比101人増）であり、今年度も前年度を上回る事ができたが、1月・3月は新型コロナウイルスの影響で稼働率が一時的に落ちたが、通年で稼働率も102%台を継続する事ができた。

要因としては、協力病院を始め、居宅支援事業所から継続的に利用者の紹介を頂けたため、昨年度より上回ったと考えられる。また、長期入所の方が入院されて空床となったベットをショートステイとして利用して頂いた事も稼働率が上がったの要因として考えられる。更には、袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市の四市で緊急ショートステイネットワーク事業からの受け入れもあった。近年、要介護認定を受ける高齢者も増加傾向になっている為、ショートステイ利用の需要も多くなってきている。

今後も、各居宅支援事業所のケアマネジャー宛に定期的な空き状況のお知らせをすることはもとより、入院等で予期せず空きベッドが生じた場合は、その都度電話、メール、FAXを駆使し、こまめに外部のケアマネジャーに通知していき、空きベッドを有効に活用し稼働率の落ち込みを防ぎ、安定した稼働の確保に努めていく。

<年間利用状況集計>

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

利用人数	542人
利用延べ人数	15,024人（1日平均41.1人）
稼働床数	14,600床（1日40床×365日）
稼働率	102.6%
一人あたりの月間利用日数	27.7日

<月別利用状況>

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用人数（人）	44	42	43	46	47	47	44	48	47	45	44	45	542
利用日数（日）	1,219	1,274	1,257	1,294	1,299	1,287	1,284	1,282	1,283	1,189	1,134	1,222	15,024
稼働率（%）	101.6	102.7	104.8	104.4	101.9	105.9	103.5	106.8	103.5	95.9	101.3	98.5	102.6

※本頁中の人数及び利用者数は、予防給付・介護給付を合算したもの

シヨートステイ要介護度別の状況

4月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	7	11	16	6	44
割合(%)	0.0	0.0	9.0	15.9	25.0	36.4	13.6	100.0

5月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	3	7	11	15	6	42
割合(%)	0.0	0.0	7.1	16.7	26.2	35.7	14.3	100.0

6月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	3	7	11	15	7	43
割合(%)	0.0	0.0	7.0	16.3	25.6	34.9	16.3	100.0

7月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	7	12	15	8	46
割合(%)	0.0	0.0	8.7	15.2	26.1	32.6	17.4	100.0

8月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	2	3	7	12	15	8	47
割合(%)	0.0	4.3	6.4	14.9	25.5	31.9	17.0	100.0

9月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	1	4	8	12	15	7	47
割合(%)	0.0	2.3	8.5	17.0	25.5	31.9	14.9	100.0

4月～9月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	3	20	27	69	100	50	269
割合(%)	0.0	0.0	7.4	10.0	27.0	37.0	18.5	100.0

10月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	3	8	12	14	7	44
割合(%)	0.0	0.0	6.8	18.2	27.3	31.8	15.9	100.0

11月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	6	8	11	16	7	48
割合(%)	0.0	0.0	12.5	16.7	22.9	33.3	14.6	100.0

12月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	5	7	13	14	8	47
割合(%)	0.0	0.0	10.6	14.9	27.7	29.8	17.0	100.0

1月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	5	5	12	15	8	45
割合(%)	0.0	0.0	11.1	11.1	26.7	33.3	17.8	100.0

2月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	4	6	11	14	9	44
割合(%)	0.0	0.0	9.1	13.6	25.0	31.8	20.5	100.0

3月

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	3	6	10	18	8	45
割合(%)	0.0	0.0	6.7	13.3	22.2	40.0	17.8	100.0

10月～3月計

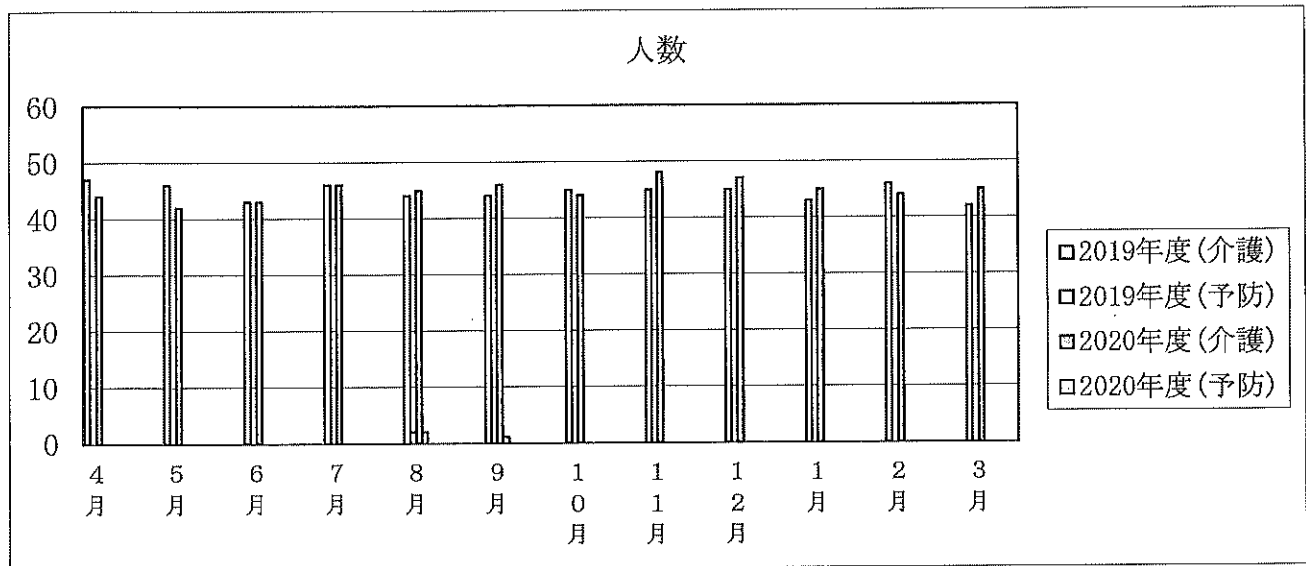
区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	0	26	40	69	91	47	273
割合(%)	0.0	0.0	9.5	14.7	25.3	33.3	17.2	100.0

4月～3月計

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	0	3	46	67	138	191	97	542
割合(%)	0.0	0.6	8.5	12.4	25.5	35.2	17.9	100.0

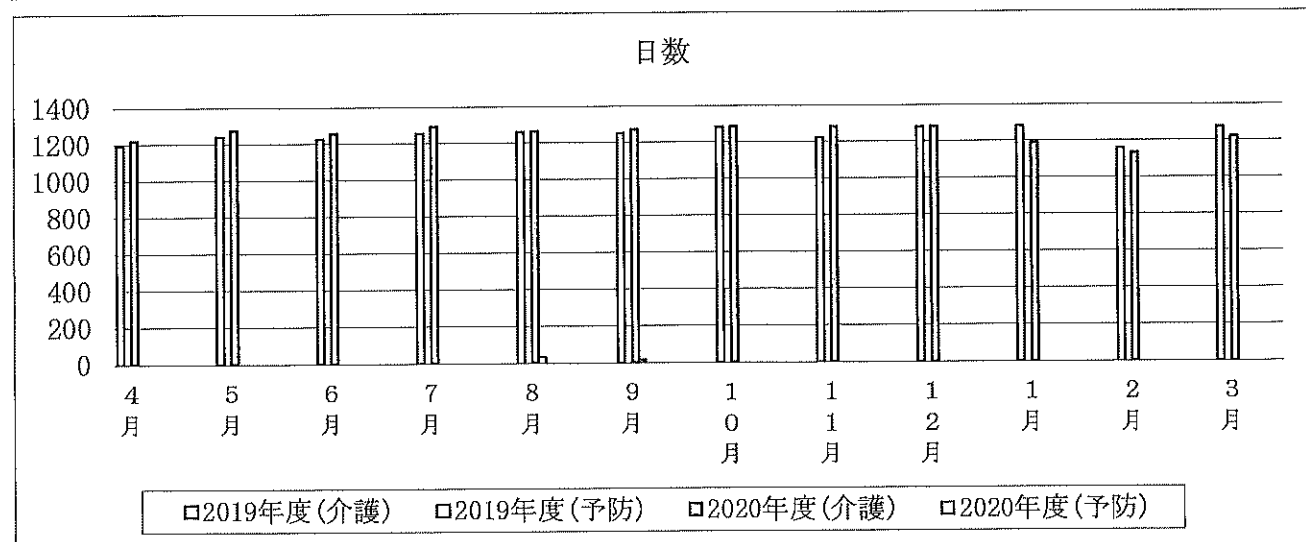
■ 2018年度及び2019年度利用人数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019年度(予防)	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
2019年度(介護)	47人	46人	43人	46人	44人	44人	45人	45人	45人	43人	46人	42人	536人
2020年度(予防)	0人	0人	0人	0人	2人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	3人
2020年度(介護)	44人	42人	43人	46人	45人	46人	44人	48人	47人	45人	44人	45人	539人
2019年度/2020年度	100.0%	91.3%	100.0%	100.0%	106.8%	106.8%	97.7%	106.6%	104.4%	104.6%	95.6%	107.1%	101.1%



■ 2018年度及び2019年度利用延べ日数比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2019年度(予防)	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
2019年度(介護)	1218日	1218日	1181日	1234日	1212日	1165日	1226日	1201日	1248日	1186日	1108日	1228日	13027日
2020年度(予防)	0日	0日	0日	0日	33日	16日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	49日
2020年度(介護)	1219日	1274日	1257日	1294日	1266日	1271日	1284日	1282日	1283日	1189日	1134日	1222日	14975日
2019年度/2020年度	100.0%	104.5%	106.4%	104.8%	104.4%	109.0%	104.7%	106.7%	102.8%	100.2%	102.3%	99.5%	103.7%



Ⅲ. 通所介護事業（デイサービス）

総括

2020年度のデイサービスの稼働実績・利用人数は、総合事業（要支援者）・通所介護（要介護者）の合算で利用人数が403名（前年度比13名減）、延べ利用人数は2,920名（前年度比57名増）であった。

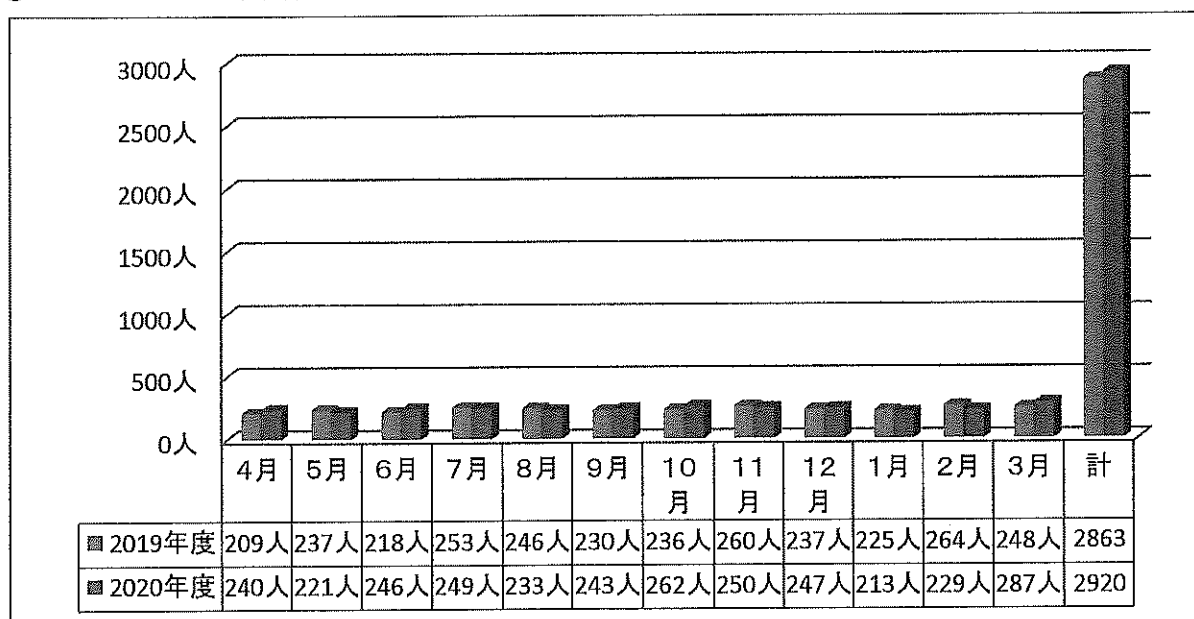
利用率は前年度から比較すると101%と1%上回り、稼働率は46%から47%と、1%微増した。

デイサービスのご利用者は継続率が高いが、体調不良や入院などがあり、稼働率は向上しない。

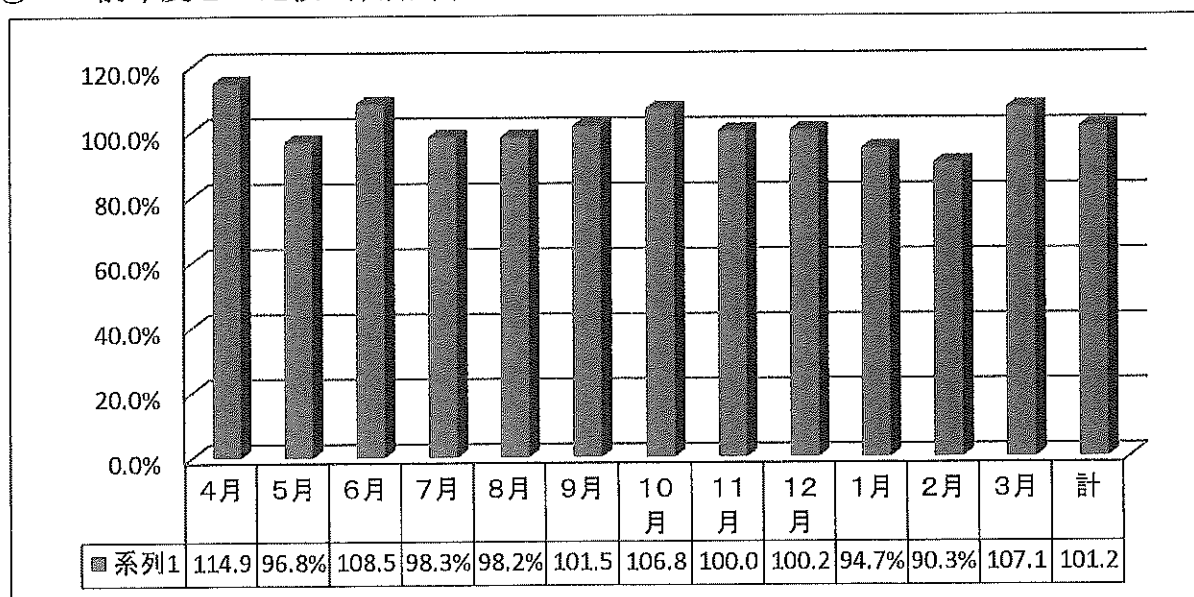
利用率の高い利用者が入院やコロナ予防等で利用しなくなると稼働率は激減してしまう。

今後は外部の居宅介護支援事業所等に多く訪問し、デイサービスの日々の取り組みなどをアピールしていき、意見交換を活発化させ、どのように利用者を獲得していくかサニーヒル全体で考えていき、地域から信頼され必要とされる事業所として利用者や地域から高い評価を受けられるように日々研鑽に努める。

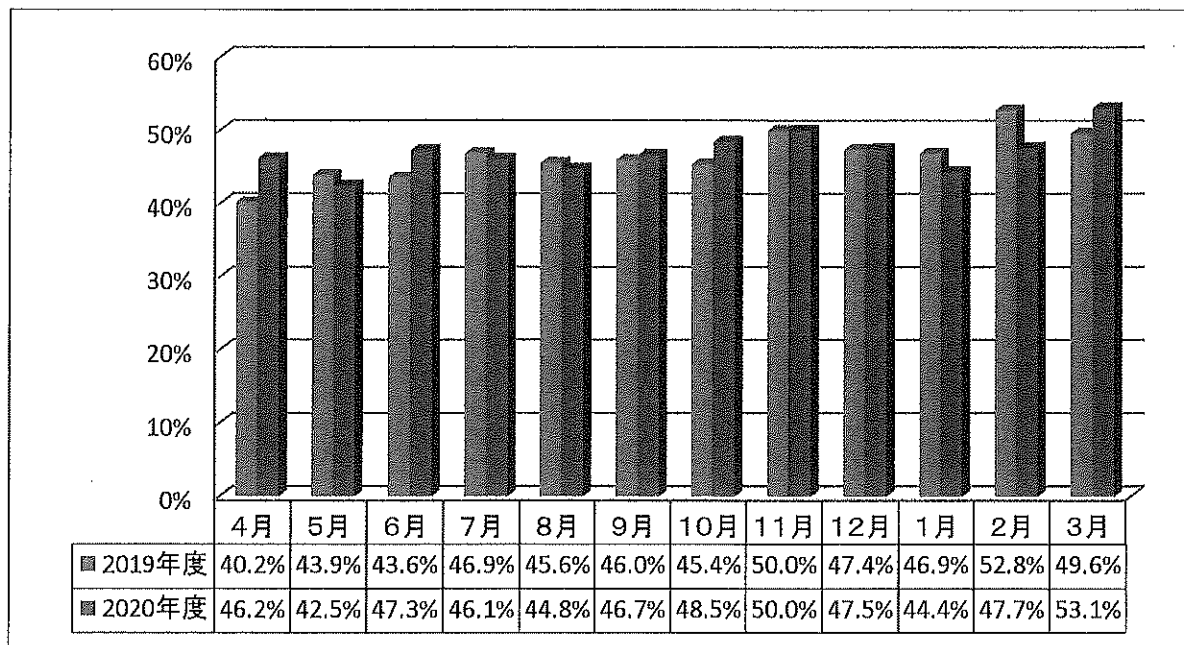
① <2019年度及び2020年度利用延べ人数比較>



② <前年度との比較（利用率）>



③ <2019年度及び2020年度稼働率比較>



④ <2020年度要介護度状況>

介護度別利用状況

2019年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	46	85	118	102	30	34	2	416
割合(%)	11.0%	20.4%	28.3%	24.5%	7.2%	7.9%	0.4%	100%
2020年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数(人)	45	74	122	77	49	36	0	403
割合(%)	11.2%	18.4%	30.3%	19.1%	12.2%	8.9%	0.0%	100%
前年度比	97.8%	87.1%	103.4%	75.5%	163.3%	105.9%	0.0%	96.9%

介護度別利用状況の合計人数は利用者の数が昨年度よりも13人少ないが、稼働率は微増しており、利用者一人当たりの利用回数が前年よりも増えたことが挙げられる。

利用率は前年比で101.9%となり、デイ利用率は増加している。

稼働率は、昨年度と比較すると5、7、8、1、2月以外は増加しており、通年では1.9%微増した。

介護度別に見ると、要介護度2の利用者が昨年度より減少したが、介護度3が増加している。

2020年度行事実績

	主 な 行 事	定 期 行 事	そ の 他
4月	桜見物ドライブ	誕生会	
5月	鯉のぼりピザトースト作り	誕生会	
6月	あじさい見物・梅ジュース作り	誕生会	
7月	スイカ割り・夏のおやつ作り	誕生会	
8月	夏祭り・フルーツ盛り	誕生会	
9月	敬老会・おはぎ作り	誕生会	
10月	ケーキバイキング・ハロウィンゲーム大会・おやつパフェ	誕生会	
11月	焼き芋作り・紅葉ドライブ	誕生会	
12月	忘年会・クリスマス会・焼きリンゴ・焼き芋	誕生会	
1月	新年のお茶会	誕生会	
2月	節分・バレンタインおやつ・餃子ピザ	誕生会	
3月	ひな祭り・ホワイトデーおやつ・春のお彼岸おやつ	誕生会	

IV. 居宅介護支援事業（居宅介護支援センター）

1. 利用実績

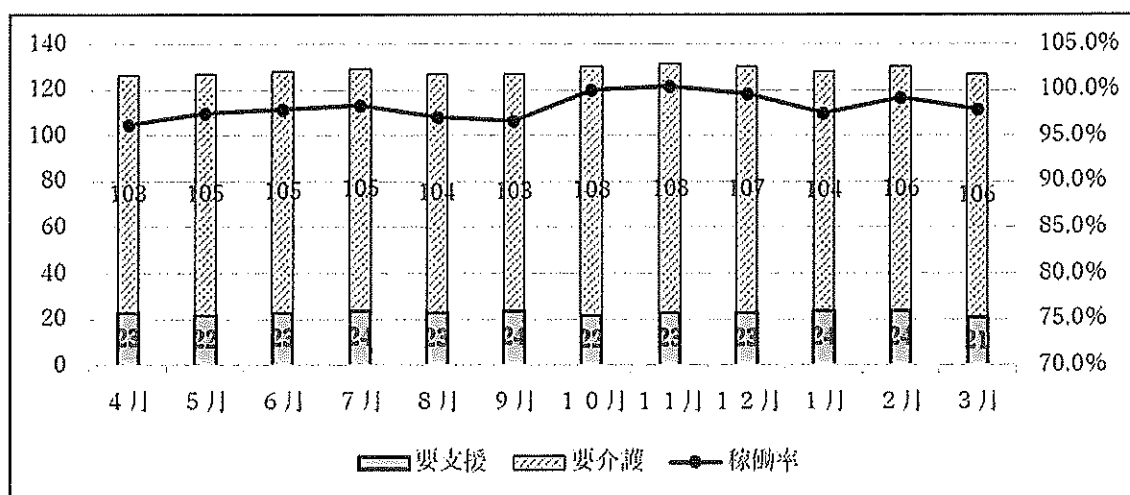
（令和2年4月～令和3年3月の給付管理実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	103	105	105	105	104	104	108	108	107	104	106	106	1265
要支援	23	22	23	24	23	24	22	23	23	24	24	21	276

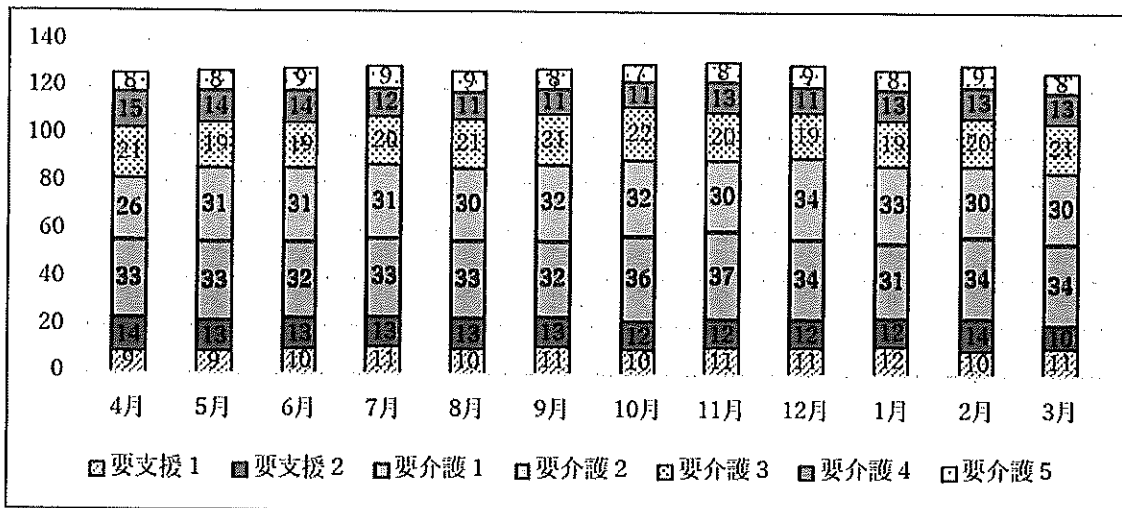
令和2年度の給付管理実績は要介護1265件（昨年度1254件）、要支援276件（昨年度350件）、計1540件であった。総計画作成件数は、1402件（※要支援は0.5件で計上）で、前年度実績より27件減少。月平均も116.9件で、前年度と比べ2.2件減少している。年度平均稼働率は98.2%で前年度実績を1.9%ほど下回っている。

給付管理実績は全体に減少しているが、要介護者では11件増加、要支援者で74件の減少となっていることから、新型コロナウイルス感染拡大の影響による軽度者のサービス利用控えが背景にあると考えられる。

外部研修も中止となるものが多かったが、年度後半にはオンライン研修へ参加できる環境を整備し、ケアマネ各自がこれまで同様に新たな知識の習得、自己研鑽に努めた。また、法令を遵守し、質の高いケアマネジメントを実践することができた。



2. 介護度別利用者数



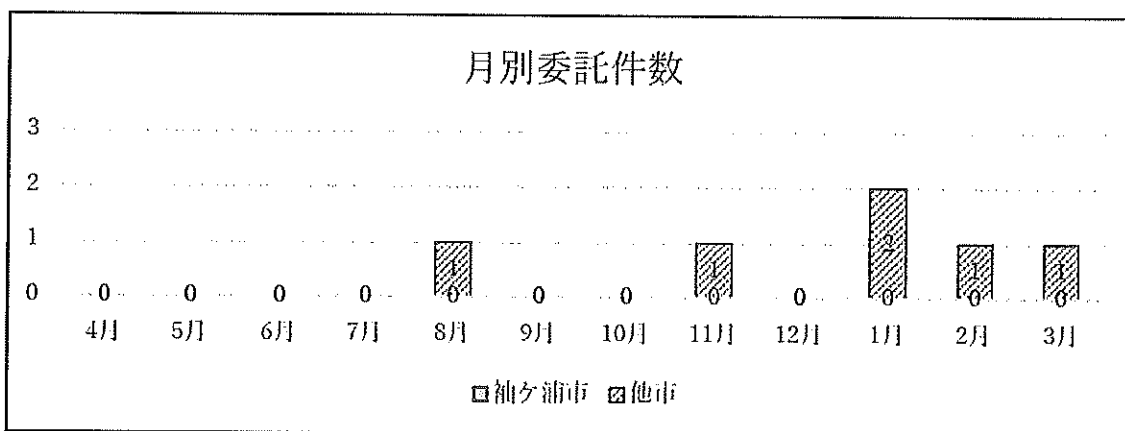
年度末時点で要支援者の割合が17%、要介護1~2の割合が50%、要介護3~5の割合が33%となっている。

3. 要介護認定訪問調査委託事業（委託業務）

今年度は、新型コロナウイルス感染対策のため各市区町村とも委託を控えていたため件数は6件であった。今後も袖ヶ浦市、他市区町村から要請があった際には連携の下、積極的に訪問調査を行っていききたい。

袖ヶ浦市委託件数 0件

袖ヶ浦市以外 6件



V. 地域包括支援センターのブランチ事業

2020年度の実態把握件数は前年比18%減の183件であった。

減少した要因として、新型コロナウイルス感染防止のため緊急事態宣言があり、その期間に訪問することができなかったことが挙げられる。

今後は地域包括支援センターの窓口機関として、新型コロナウイルス感染防止を徹底しながら訪問件数を増やし、高齢者世帯の実態把握訪問を行い、援護高齢者の発見などに努めたい。

1. 相談対応実績

	実態把握訪問時	その他	計
相談対応件数 (対象高齢者数)	183	0	183

(件)

2. 相談対応実績(対応延回数)

	計	対応内容別内訳		
		電話	来所	訪問
相談対応回数(延)	183	0	0	183

(回)

※同一対象者に複数回対応した場合、それぞれを1回とカウントする。

3. 実態把握実績

	独居	高齢者複数	その他	計
新規	0	183	0	183
再訪問	0	0	0	0
計	0	183	0	※加算対象 183

(件)

※今年度に限らず過去に一度でも実態把握をしている場合は、再訪問とする。

給与栄養量

R2. 4. 1~R3. 3. 31

月	熱量 kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	ビタミ				食塩 g
					レチノールμg	B1 mg	B2 mg	C mg	
R2.4	1,470	66.4	35.3	712	776	1.12	1.29	100	8.5
7	1,486	64	37.2	676	797	1.11	1.3	112	8.3
10	1,463	64.9	34	597	740	0.91	1.1	101	8.6
R3.1	1,483	65.5	34	624	794	1	1.13	104	8.5
月平均	1,476	65.2	35.1	652	777	1.04	1.21	104	8.5
摂取基準量	1,400	60	40	700	800	1.20	1.30	100	8

主食種類別状況

R3. 3. 31現在

区分	流動食 (濃厚)	ミキサー食	全粥	軟飯	ご飯	計
A・B棟	0	3	47	12	24	86
C棟	0	3	17	11	9	40

副食種類別状況

R3. 3. 31現在

区分	常食	一口大	きざみ	極きざみ	ミキサー	流動食 (濃厚)	計
A・B棟	15	12	19	34	3	0	83
C棟	8	2	14	10	3	0	37

入所者嗜好調査結果

令和3年3月31日

食品名	食べられない人	率(%)	代替食
牛乳	3名	4	コーヒー牛乳・ジュース
納豆	9名	11	卵料理
パン	7名	9	ごはん、粥
麺類	12名	15	ごはん、粥
刺身	5名	6	甘塩鮭
鮭、鯖	4名	5	甘塩鮭、卵料理
肉類	4名	5	卵類、魚缶類
カレー	3名	4	肉じゃが
トマト	1名	1	じゃがいも、アスパラ等
さつまいも	1名	1	じゃがいも
ヨーグルト	3名	4	牛乳、ジュース類
ウナギ	1名	1	甘塩鮭
グレープフルーツ	2名	2	果物缶
梅干し	4名	5	塩分制限の為なし
卵	1名	1	甘塩鮭

※ 入居者の平均年齢は男 81.9 歳、女 85.8 歳と共に 80 歳を超え、それに伴い副菜の形態も常食が 15 名（15 名）、一口大が 12 名（14 名）、きざみが 19 名（13 名）、極きざみが 34 名（41 名）、ミキサ一食 3 名（3 名）と約 8 割の方達は料理の形態を崩した食事での対応となっている。カッコ内は令和 2 年度の実績報告時の人数になっている。

認知症の進行と平行し BMI18.5 以下の方が増加の一途をたどっている。しかし、栄養介入により低体重から適正体重へと改善するケースもある。

全体的に高齢にともない認知症が進行しており、嗜好面意思表示の低下、味覚の鈍化も顕著になっている。反面、施設内での生活により、偏食が是正され栄養素バランスが向上している。

また、摂食嚥下機能障害のため摂取量の低下を招き、必要エネルギー量の確保が困難となっている。そこで、利用者様一人一人に合った食事形態及び食事内容で提供し、献立自体も、食べやすく高齢者の嗜好に合った物を検討することで、食事摂取量改善ができるよう努めている。一方で、少人数だが肥満傾向の体重増加の予防、機能低下を予防する為のリハビリや体操なども積極的に取り組んだ。さらに誤嚥の為、主食の麺類等が摂取困難のため禁止食となるケースが増加傾向を示し食事メニューの選択幅が減少している。また医薬品の関係で一定の食材が禁止になる場合も多くなってきており納豆やグレープフルーツなどが禁止となる人数も増加傾向にある。

行事食の状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

行 事	月 日	献 立 内 容
花見	4月7日	お汁粉 C棟：どら焼きづくり
創立記念日	5月12日	紅白饅頭 昼食：ご飯, すまし汁, お刺身, 煮物, 3色ゼリー
夏祭り	7月22日	A棟2階 わたあめ, かき氷, ソース煎餅、
	7月22日	A棟3階 わたあめ, かき氷, 駄菓子
	7月11日	B棟 焼きそば, かき氷, ジュース, 駄菓子
	7月18日	C棟 焼きそば, 焼きトウモロコシ, かき氷, ポテト, わたあめ, ジュース
敬老会	9月20日	昼食：赤飯, 天ぷら盛合せ, 肉詰めいなりの含め煮, ほうれん草のお浸し, お吸い物, 芋ようかん A棟 寿おやき, 果物とゼリー盛り合わせ, お煎餅, 駄菓子, お茶
	9月17日 9月15日	C棟1階 C棟2階 昼食：松花堂弁当, お吸い物, 和菓子(芋羊羹)
	9月10日	B棟 赤飯, 清汁, 天ぷらの盛り合わせ, ピーナッツ 焼き鳥, 根菜煮, ムース フルーツ, 和菓子, お煎餅, 駄菓子, チョコレート, お茶
お彼岸	9月23日	おはぎ(代替食：お汁粉)
クリスマス 忘年会	12月20日	A棟2階： かやくご飯, コンソメスープ A棟3階 , 白身魚のブイヤベース, ポテトサラダ, バナナムース
	12月25日	B棟・C棟1階・C棟2階 パン, スープ, ビーフシチュー, ブロッコリーサラダ おやつ：クリスマスケーキ
年越しそば	12月31日	昼食：年越しそば, ふんわり天, 果物缶
お正月	1月1日	昼食：赤飯, 清汁, おせち盛り合わせ, 根菜煮, 果物缶 ※三箇日は各階に温州ミカン1箱を配布 甘酒, お餅風ムース, どらやき, 和菓子, お汁粉
七草粥	1月7日	朝食：七草粥, 味噌汁, 高野豆腐の煮物, いんげんサラダ

節分	2月2日	A・B・C棟 昼食：恵方巻き, 清汁, 卵豆腐, 果物缶
ひな祭り	3月3日	A・B・C棟 昼食：ちらし寿司(えび・とびっこ), 清汁, ジャガイモのそぼろ煮, 三色寒天 おやつ：甘酒
お彼岸	3月20日	おはぎ(代替食：お汁粉)
誕生日会	AB棟：月毎に設定 C棟：毎月第4木 曜日	ケーキ, お茶

VII. 健康管理

特別養護老人ホームサニーヒル 入院者個別状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	K N	2020.4.13	2020.5.30	47	肺炎・胸水・無気肺
2	M K	2020.6.14	2020.7.4	21	肺炎・膀胱炎
3	S N	2020.7.16	2020.7.31	16	肺炎・胸水・尿路感染
4	K T	2020.10.26	2021.1.9	101	肺炎
5	A N	2020.11.9	2021.12.5	27	腎不全・肝機能低下
6	A K	2021.3.12	2021.3.12	11	尿管結石
2020年度延べ入院者数 31人 述べ入院日数 730日間					

特別養護老人ホームサニーヒル 入所者の疾患状況

令和3年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	3	18	21
	心疾患	1	5	6
呼吸器系	気管支喘息 他	1	6	7
中枢神経系	脳梗塞	1	7	8
	パーキンソン病	1	0	1
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	7	7
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	3	4
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	1	3	4
内分泌系	糖尿病	2	3	5
泌尿器系	前立腺肥大症	0	0	0
	腎不全	0	2	2
眼科系	失明	1	0	1
	白内障	0	1	1
合 計		12	55	67

※合併症を含む

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入院者個別状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

	氏名	入院日	退院日	入院日数	入院理由
1	M H	2020.4.27	2020.7.13	79	慢性心不全
2	M T	2020.7.25	2020.8.15	22	膝頭部癌
3	I M	2020.8.12	2020.10.17	67	膀胱炎
4	I S	2020.10.6	2020.11.3	29	敗血症
5	T Y	2020.12.20	2021.1.11	23	右大腿部頸部骨折
6	T M	2021.2.20	2021.2.26	7	肺炎
2020年度延べ入院者数 19人 延べ入院日数 542日間					

特別養護老人ホームサニーヒル ユニット 入所者の疾患状況

令和2年3月31日現在

	疾患名	男	女	計
循環器系	高血圧	4	11	15
	心疾患	1	4	5
呼吸器系	気管支喘息 他	2	1	3
中枢神経系	脳梗塞	3	3	6
	パーキンソン病	0	0	0
運動器系	脊髄変形症	0	0	0
	リウマチ	0	0	0
	骨粗鬆症	0	4	4
消化器系	急性・慢性胃腸炎	1	4	5
	胃潰瘍	0	0	0
	肝・膵臓炎 他	3	4	7
内分泌系	糖尿病	2	3	5
泌尿器系	前立腺肥大症	2	0	2
	腎不全	1	0	1
眼科系	失明	0	0	0
	白内障	0	1	1
合計		19	35	54

※合併症を含む

VIII. 施設実習及び地域交流

介護実習等施設受入れ実績

年間を通じた実習生の延べ人数は下表に示す通り、専門学校・短期大学・ヘルパー養成機関共に0人、体験学習0名である。

昨年度は学生及びヘルパー養成施設共に受け入れがなかった。その要因としては、昨今、社会問題となっている新型コロナウイルス感染症の流行により、受け入れを中止した。又、介護現場での就職を希望している学生が減少していることが挙げられる。

福祉短大・専門学校	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
植草学園短期大学	0名（0名）	0名（0名）
京葉介護専門学校	0名（0名）	0名（0名）
東京福祉専門学校	0名（0名）	0名（0名）
計	0名（0名）	0名（0名）

ヘルパー養成施設	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
ニチイ学館	0名（0名）	0日（0日）
三幸福祉カレッジ	0名（0名）	0日（0日）
計	0名（0名）	0日（0日）

介護体験	人数（前年度実績）	延べ日数（前年度実績）
日本経営協会（県新採職員研修）	0名（14名）	0日（7日）
計	0名（14名）	0日（7日）

地域ボランティア受入れ実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
延べ人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	6人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	3人

年間受入れ延べ人数	12人
-----------	-----

※前年度実績 113人

クラブ活動状況

クラブ名	1回あたりの参加人数			指導者名	開催状況
	男性	女性	合計		
生け花クラブ	1人	7人	8人	鈴木 江美子	月2回
書道クラブ	2人	8人	10人	岩井 綾子	月2回
陶芸クラブ	1人	12人	13人	内山 輝夫	月2回

IX. 行事運営等活動及び保守整備状況

年間行事運営活動実績一覧

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
4 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 入所者定期検診 (春季) (年1回実施) ※血圧測定、 健康相談随時 職員(直接処遇) 定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	お花見 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 身体拘束廃止委員会
5 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員(直接処遇) 定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 キューピクル定期点検	端午の節句 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 創立記念日 陶芸クラブ	給食会議 生活支援会議 ケース会議 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会
6 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 冷暖房切替 消防設備点検 地下貯蔵タンク清掃	陶芸クラブ 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会
7 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	七夕会 夏祭り 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	全体会議 生活支援会議 ケース会議 運営委員会 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 身体拘束廃止委員会 指導監査

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
8 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 朗読クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会
9 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 職員定期検診 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	敬老会 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会
10 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 職員定期検診 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 全体会議 指導監査 身体拘束廃止委員会
11 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練	誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 経営会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会

	健康管理 リハビリテーション	衛生管理 災害対策	行事 レクリエーション クラブ等	会議・研修会等
12 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	忘年会 クリスマス会 生け花クラブ 陶芸クラブ 書道クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 感染症対策委員会 経営会議
1 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検	初詣 新年会 鏡開き 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 全体会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 経営会議 感染症対策研修 介護認定調査委員現任研修 介護認定審査会委員研修 身体拘束廃止委員会
2 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検	節分 誕生会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 生活支援会議 ケース会議 給食会議、給食委員会 ヒヤリハット・事故報告委員会 虐待防止委員会 経営会議
3 月	リハビリテーション (毎週日曜日) 散髪 訪問歯科	エレベーター保守点検 水質検査 電気工作物巡視点検 給水施設点検 避難訓練 消防設備点検	雛祭り 誕生会 お茶会 生け花クラブ 書道クラブ 陶芸クラブ	運営委員会 ケース会議 給食会議 ヒヤリハット・事故報告委員会 経営会議 感染症対策委員会

設備機器導入ならびに保守整備状況一覧

年 月	件 名	内 容
2. 6	・二酸化炭素燻蒸器	・新型コロナウイルス感染症対策の為
2. 1 2	・紫外線照射装置	・新型コロナウイルス感染症対策の為
2. 1 2	・サーマルカメラ	・新型コロナウイルス感染症対策の為
3. 3	・ご利用者ベッド交換	・ご利用者様の健全な生活の為